

栗原の稲作通信

令和3年第7号 令和3年8月30日発行

宮城県栗原農業改良普及センター

宮城県米づくり推進栗原地方本部

電話番号 0228-22-9404

「適期刈取り」による良食味・高品質米の生産に努めましょう

■気象経過

- 8月上旬は気温が高く、日照時間は平年並で、降水量は少なくなりました。8月中旬は、気温が低く、日照時間が少なく、降水量は多くなりました。

東北地方1か月予報 予報期間：8/28～9/27

令和3年8月26日仙台管区気象台発表より抜粋

予報のポイント

- 東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
- 向こう1か月の気温は、ほぼ平年並の見込みです。

1か月の平均気温・降水量・日照時間
(東北太平洋側)

平均気温	ほぼ平年並	の見込み
降水量	ほぼ平年並	の見込み
日照時間	ほぼ平年並	の見込み

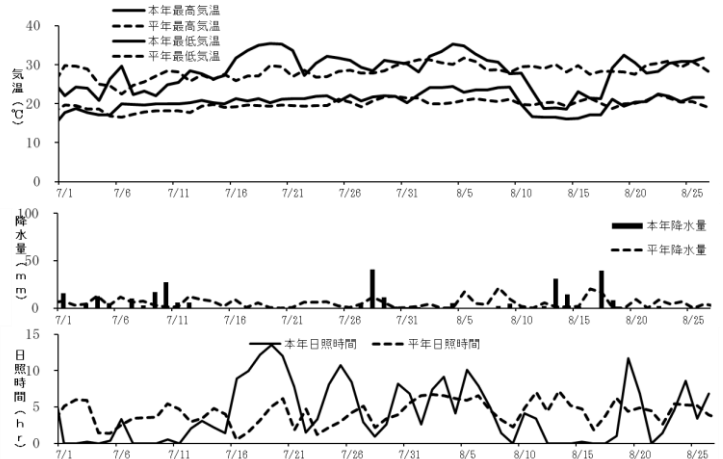


図1 気象経過 (アメダス築館) *点線は過去5か年平均

■出穂状況

- 栗原管内の出穂期は平年より3日早い7月30日、穂揃期は平年より2日早い8月9日となりました。

表1 出穂状況

	栗原			県全体		
	出穂始期	出穂期	穂揃期	出穂始期	出穂期	穂揃期
本年	7/26	7/30	8/9	7/26	7/30	8/7
前年	8/1	8/6	8/14	8/1	8/6	8/12
平年	7/29	8/2	8/11	7/30	8/3	8/10
平年差	-3	-3	-2	-4	-4	-3

注：出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稲作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂に達した時期である。

■出穂後25日調査結果

- ひとめぼれでは、出穂期は前年より1週間程度早くなりました。出穂後25日調査では、ひとめぼれは稈長、穂長は前年並、穂数は前年より多く、m²当たり粒数は前年より多くなりました。

表2 生育調査ほ出穂後25日調査結果

※8月30日現在、つや姫、だて正夢、直播萌えみのりは未調査

品 種	地区	田植日			出穂期			稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m ²)			葉色(GM値)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	築館	5/9	3日遅	4日遅	7/27	7日早	2日早	86	104	104	20	102	106	526	127	108	36.0	5.2	3.4
ひとめぼれ	若柳	5/19	1日早	同日	7/31	8日早	4日早	87	100	96	18	102	97	516	101	94	31.8	-0.3	-0.6
ひとめぼれ	一迫	5/8	5日早	同日	7/31	7日早	-	76	100	-	18	100	-	434	117	-	27.3	-2.7	-
ひとめぼれ	管内平均	5/12	1日早	-	7/29	7日早	-	83	101	-	18	101	-	492	114	-	31.7	0.7	-
つや姫	築館	5/24	1日遅	4日遅	8/10	5日早	3日早												
だて正夢	築館	5/20	1日早	-	8/6	7日早	-												
萌えみのり	金成	5/13	4日遅	2日遅	7/30	9日早	6日早	80	101	101	20	102	100	477	98	106	38.9	0.7	2.8
品 種	地区	一穂粒数(粒/本)			m ² 当粒数(百粒/m ²)														
		本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比												
ひとめぼれ	築館	79.3	112	121	417	143	131												
ひとめぼれ	若柳	58.7	98	96	303	99	91												
ひとめぼれ	一迫	59.1	89	-	257	104	-												
ひとめぼれ	管内平均	65.7	100	-	326	116	-												
つや姫	築館																		
だて正夢	築館																		
萌えみのり	金成	83.8	110	100	400	107	106												

注1:平年値は過去5か年平均。

注2:一迫ひとめぼれ、令和2年から調査農家変更のため平年値はなし。

注3:ひとめぼれ管内平均は築館、若柳、一迫3か所の平均値。

■今後の管理

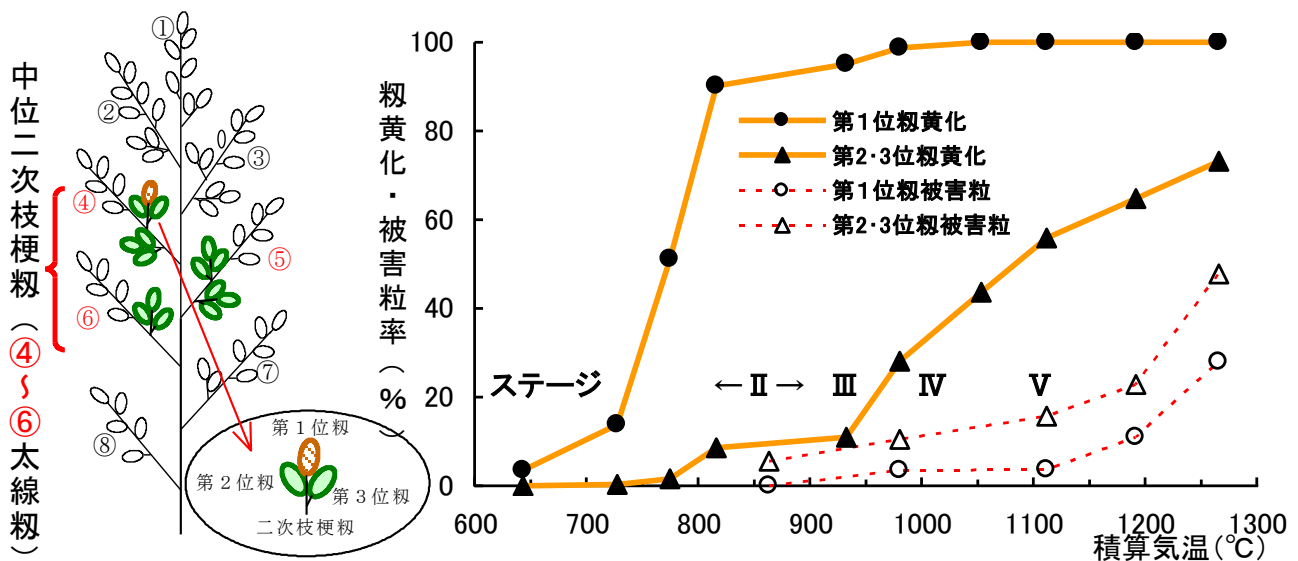
(1) 水管理について

- 刈取り作業を容易にするため、早めに落水する傾向にありますが、早期落水は米の整粒歩合が低下します。品質向上のため、落水時期は、排水が良好なほ場では出穂後30日を目安にしましょう。

(2) 刈取適期について

- 米粒の肥大がおおむね完了するのが成熟期ですが、この時期を過ぎると着色粒や胴割粒、さらに、高温多湿条件下では穂発芽等、被害粒の発生が増加し、玄米の外観品質は著しく低下します。
- 玄米千粒重が最大に近づき、すべての籾がほぼ成熟した時期（刈取早限）から、外観品質及び食味の低下を招かない時期（刈取晩限）までに収穫を終わらせることが重要です。
- 刈取適期判定のために、ほ場全体をよく観察し、成熟状態等を総合的に判断しましょう。一般的には、籾の80~90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から3分の1程度黄変したときが成熟期となります。ひとめぼれでは、平均的な穂数を持つ株の中から、枝梗数8本の穂を選び、中位（4~6番目）の二次枝梗の籾の熟色を観察して判断します。

○ほ場の観察による適期の判定



(成熟ステージIイメージ図) **図2 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移**

刈取早限：第1位籾が殆ど黄化し(95%)、第2,3位籾が黄化開始

刈取適期：第1位籾の黄化100%、第2,3位籾が30%黄化 (積算気温 1,000°C程度)

刈取晩限：第2,3位籾が50%以上黄化

○出穂後の積算平均気温から見た適期の予測

出穂後の日平均気温を積算し、おおむね 1,000°Cの頃が、収穫適期の目安となりますが、早晚性や品種により収穫適期に達する積算平均気温がやや異なるので注意しましょう。

表3 品種別の刈取適期となる出穂後の積算平均気温

品種等の区分	刈取適期となる出穂後の積算平均気温	出穂後日数の目安
やまのしずく等早生種	920°C	40~45日
ひとめぼれ	940°C~1,100°C	40~45日
ササニシキ	930°C~1,150°C	45~50日
だて正夢	1,020~1,060	50日前後
金のいぶき	1,050~1,150	50~55日
みやこがねもち等晩生種	950°C	45~50日
つや姫	1,000°C~1,200°C	48~60日

※つや姫は、出穂後 1,200°Cを超すと茶米の発生が多くなるため、刈り遅れに注意が必要です。

- ・7月30日出穂期のひとめぼれの場合、刈取早限が9月8日、刈取適期は9月11日、刈取晩限は9月16日の見込みです。

表4 出穂後積算平均気温から見た刈取適期の範囲（築館アメダス、ひとめぼれ940～1100℃）

	目安となる 積算気温	出穂期				
		7月26日	7月30日	8月3日	8月7日	8月10日
刈取早限	940℃	9月4日	9月8日	9月14日	9月19日	9月23日
刈取適期	1,000℃	9月7日	9月11日	9月16日	9月22日	9月26日
刈取晩限	1,100℃	9月11日	9月16日	9月22日	9月28日	10月2日

注：築館アメダスの平均気温データ，8月26日まで本年値，8月27日以降は過去5年間の平均値を使用して換算した。

（3）収穫作業について

- ・コンバイン収穫では、籾水分が高いと損傷が多くなるため、籾水分は25%以下を目標に刈取作業をしましょう。
- ・複数の品種の刈取りを行う場合には、品種が替わる際に十分な清掃を行い、機械内における異品種の混入を未然に防ぐよう注意しましょう。
- ・倒伏している場合は、他の稲とは別に「刈分け」を実施し、収穫物に石など異物が混入しないように注意しましょう。

（4）乾燥・調製作業について

- ・収穫した生籾を放置すると発熱して変質米の原因になるので、刈取り後速やかに乾燥機に張り込み送風しましょう。
- ・倒伏した稲や未熟粒の多い稲などを機械乾燥する場合は、二段乾燥を行い、水分ムラや胴割米の発生を抑えましょう。
二段乾燥・・籾水分が18%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間通風循環後仕上げ乾燥を行う
- ・正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分を測定することで過乾燥を防止しましょう。仕上がり玄米水分は14.5～15.0%が目標です。
- ・籾すりは肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式籾すり機の場合は、籾（品種）に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底しましょう。

.....

■秋の農作業安全確認運動 実施期間 9月1日～11月30日

「見直そう！農業機械作業の安全対策」

トラクター等の整備不足や操作ミスが転落・横転・追突の事故を引き起こします。農機事故を未然に防ぐために備えるべき機器（ランプ等）や操作時の安全確認と予防対策をもう一度考えてみましょう。

.....